

会 議 名	平成 30 年度第 2 回浜田自治区地域協議会
日 時	平成 30 年 8 月 6 日（月） 15 時 00 分～16 時 45 分
場 所	浜田市役所 講堂
出 席 者	委 員 13 名（欠席者 2 名） 市 13 名（事務局 4 名を含む） 傍 聴 者 3 名
次 第	開会 1 浜田自治区長、地域協議会会長あいさつ 2 議題 (1)消防団車庫の集約について (2)城山公園整備における御便殿及び公衆トイレの整備方針（案）について (3)自治区制度の見直しについて 3 その他 浜田市まちづくり総合交付金制度改正検討委員の選出について 閉会
会議資料	別紙のとおり

出席者名簿

地域協議会

NO	氏名	役職(選任後)	出欠	備考
1	村井 栄美子	会長	出席	
2	井戸 静志	副会長	出席	
3	竹山 勝彦	副会長	出席	
4	熱田 純子		出席	
5	磯野 光孝		出席	
6	佐古 肇徳		出席	新任 (H30.7.1~)
7	滝本 武夫		出席	
8	田子 ヨシエ		欠席	
9	辻野 一正		出席	
10	原田 豊		欠席	
11	肥塚 由美子		出席	
12	平野 公望		出席	
13	細川 良一		出席	
14	宮下 義重		出席	
15	宮田 弘		出席	

浜田市出席者

NO	氏名	所 属
1	近重 哲夫	副市長(浜田自治区長)
2	岡田 泰宏	地域政策部長
3	佐々木 秀樹	教育部長
4	岡橋 正人	政策企画課長
5	大屋 一幸	政策企画課企画係長
6	外浦 和夫	文化振興課長
7	川本 裕司	文化振興課専門企画員
8	本田 教司	消防本部警防課長
9	大橋 信治	消防本部総務課経理係長

事務局

NO	氏名	所 属
1	邊 寿雄	地域政策部 まちづくり推進課長
2	上野 晃	地域政策部 まちづくり推進課 地域づくり推進係長
3	藤井 雄也	地域政策部 まちづくり推進課 地域づくり推進係 主任主事
4	野津 聖	地域政策部 まちづくり推進課 地域づくり推進係 主事

(開会 15時00分)

1 あいさつ

- ①浜田自治区長 (近重副市長)
- ②浜田自治区地域協議会会長 (村井会長)

2 議題(1)「消防団車庫の集約について」

【経過】

(消防本部 本田警防課長)

資料1をもとに説明

【質疑応答】

(滝本委員)

消防団員の定年はあるのか。

(本田課長)

定年はない。本人が辞めると言われるまで活動していただく。

(佐古委員)

今回の報告案件は浜田分団が主だが、石見分団等は今後計画を協議していくのか。

(本田課長)

他の分団については、今後協議をして計画を策定していく予定。

(肥塚委員)

消防団員の希望者が少なくて困っている。消防団員に加入してもらうようにどのようなPRを行っているのか。

(本田課長)

企業に対しての勧誘や学生の勧誘なども行っているが、基本的に消防団員からの勧誘が多いと思う。

(肥塚委員)

石見地区全体で消防団員の数は減少している。どうにかPRして若い人に来てもらいたい。消防本部から自治会等へ直接PRすべきではないのか。

(本田課長)

パンフレット配布などは行っているが、効果的なPR方法については、消防団のありかた検討会を通して議論していきたい。

(磯野委員)

火災が発生した際は、消防団員は必ず出動するのか。

(本田課長)

消防団員の判断で出動しても構わないが、原則はシステムで該当の消防団へ連絡して出動してもらう。

(磯野委員)

過去の火災において、消防団がどのくらい出動したのかを把握しているのか。

(本田課長)

把握している。

(竹山委員)

非常募集された場合、第4分団に集合するのか。消防団車庫を集約することで効率が良くなるのか。

(本田課長)

基本的には、1班の班員の場合、車庫に集合して装備して現場へ向かうことになり、最低2人でサイレンを鳴らしながら出動する。ポンプ車による消火活動は最低4人必要となっている。平日の昼間だと人数が集まらないが、消防団車庫の集約をすると、人がある程度集まるのではないかと考えている。

3 議題(2)「城山公園整備における御便殿及び公衆トイレの整備方針(案)について」

【経過】

(文化振興課 外浦課長)

資料2をもとに説明

【質疑応答】

(平野委員)

御便殿と公衆トイレとの距離はどのくらいか。

(川本専門企画員)

約30メートル離れている。

(平野委員)

御便殿の施設内にトイレがなければ不便を感じるのではないかと。また、トイレの管理・清掃はどのように行っていくのか。

県が管理している公衆トイレはきれいだが、市の公衆トイレは汚いと感じている。やはりトイレはきれいに管理してもらいたい。

(川本専門企画員)

改修費用等を考慮して、施設外に公衆トイレを設置する予定である。

トイレの管理については、御便殿の担当職員が定期的にチェックを行う予定である。

(肥塚委員)

約30メートル離れたところにトイレを設置するのは無理があるのではないかと。御便殿の中にトイレを設置すべきではないのか。トイレの衛生管理については徹底しなければならない。予算をしっかりと組んできれいに管理してもらいたい。

(佐古委員)

城山の整備について、どこまで予算がついているのか。どこまで話が進んでいるのか。

(川本専門企画員)

計画の進捗状況であるが、山頂に登るための階段の整備、周遊道路等の整備計画は方針決定済で予算も確保している。御便殿の整備についてはこれから協議を行っていくが、それ以外については予算が確保されている。

(佐古委員)

道路はいつ完成するのか。

(川本専門企画員)

来年度末(H32.3)の完成を目指している。

(佐古委員)

トイレについては H31.10 から稼働開始予定で、道路は H32.3 に完成となっているが、矛盾が生じていないか。道路ができてトイレも整備されるのではないのか。

(川本専門企画員)

道路については H31.9 までに作る予定ではあるが、きれいに舗装する作業についてはずれ込む可能性があるのでは H32.3 完成とご説明した。

(佐古委員)

御便殿を修繕して中に展示室を設けるといふ計画だが、面積が約 60 坪しかない。狭い展示室内に展示できるのか。倉庫等は御便殿の外に出して、全て展示室にすべきではないのか。

(川本専門企画員)

展示室内に多くを展示するわけではなく、パネルを中心とした設置を考えている。今回はコンパクトにまとめた展示室を考えている。備品倉庫等については今回の修繕の対象外となっている。

(佐古委員)

木造の御便殿の中にパネルのみを展示するのは寂しいと思うが。

(川本専門企画員)

パネルのみではなく、可動式の展示ケースを用意し、甲冑等を展示する予定である。

(竹山委員)

佐古委員と同じ意見で、狭い展示室に多くの展示物を詰め込むのは良くないと思う。

また、トイレは御便殿内に設置すべきである。トイレの整備概要を見ると、和室トイレを整備される予定だが、和室トイレは必要ないのではないのか。すべて洋式トイレで良いのではないのか。

(川本専門企画員)

洋式トイレを嫌がる人もいるので和式を 1 つ設置する考えだが、詳細については今後検討していきたい。

4 議題(3)「自治区制度の見直しについて」

【経過】

(政策企画課 岡橋課長)

資料 3-1～3-4 をもとに説明

(まちづくり推進課 上野地域づくり推進係長)

本日ご欠席の原田委員から自治区制度についての考えを伺っているので代読させていただきます。

「自治区長がいなくても大丈夫だと思う。自治区長、支所長と 2 つの役職があるのは違和感がある。」

【意見】

(辻野委員)

市議会議員がいるのであれば、地域協議会は必要ないと思う。今年度から新しく委員になったので、自治区制度についてはよくわからない。他の委員の考えを先にお聞きしたい。

(滝本委員)

浜田自治区以外の 4 つの自治区については個性あるまちづくり活動が進んでいるが、浜田地区は個性あるまちづくり活動が進んでいないと感じている。自治区制度は廃止しても良い

のではないか。

今後は浜田自治区が発展しなければいけないと思う。

(佐古委員)

自治区制度である程度の予算を確保して事業を行っていくことは大事だと思う。

旧那賀郡の地域協議会は、地域住民の意思決定機関として重要だと思う。

自治区長制度をやめて、各支所長が業務をカバーすることが素直な考えだと感じている。

(磯野委員)

自治区制度は廃止してもいいと思う。自治区長の役職を廃止するが、各地域協議会は残したほうが良いと考える。

(熱田委員)

原田委員の考えに納得した。自治区長と支所長の2つの役職に違和感がある。

(岡田地域政策部長)

支所長と自治区長の違いについて改めてご説明させていただく。

支所長は行政の部長職であり、市長の意向をくんで業務に取り組むことが前提である。自治区長は地域協議会の推薦に基づき任命される特別職であり、地域の声に耳を傾けて業務を行うことが前提となっている。

2つの役職は異なるものであることをご理解いただきたい。

(井戸委員)

現行の浜田那賀方式はやめるべきだと思う。現行の制度はおかしいと感じている。浜田市の問題は浜田市全体で考えるべきである。オール浜田で取り組むべきだと思う。

(竹山委員)

井戸委員と同じ考えである。自治区制度がなぜ必要なのかわからない。地域協議会も必要ないと思う。市議会議員に意見を言えるような仕組みを作るべきだと思う。

(肥塚委員)

自治区制度は廃止すべきだと思う。前回の見直し時の全体会議で浜田地区以外の地区からいろいろな意見を言われて押し通されてしまったが、自治区制度は今回で終わらせるべきだと思う。

(平野委員)

自治区制度は廃止すべきだと思う。自治区制度発足の経緯は、地域が寂れてしまうのではないかという危惧から始まった。現行制度で10年間行ってきたが、そろそろ次の段階へ進むべきだと思う。

自治区長と支所長について改めて整理を行うべきである。

自治区長をなくして、支所長が協議会で諮って事業を行っていく方式が良いのではないか。

(細川委員)

現行の自治区制度で、各自治区が本当に活性化されたのかが疑問である。自治区長と支所長について、自治区長は地域協議会から推薦される形となっているが、推薦されるのは大体支所長のOBである。

浜田市は一体化して取り組むべきだと思う。もう合併から10年以上経過した。地域協議会も必要ないと思う。

(宮下委員)

自治区制度は必要ないと思う。浜田市は5万人程度の小さな市なので、一体化して活動を行っていくべき。地域協議会もなくすべきだと思う。市議会でも地域の意見を集約できればそれで良い。

(宮田委員)

旧那賀郡の基金によって浜田自治区は助けられたということを忘れてはいけないが、基金が尽きればそれまでである。

旧那賀郡はそれぞれで考えが異なる。浜田自治区は自治区制度をなくしてしまってもよい。

旧那賀郡については、地域協議会も機能しているので自治区制度は残した方がよいと思う。

自治区長は廃止して、支所長一本で良い。

(佐古委員)

自治区長がなくなるのはいいが、自治区制度そのものを廃止してしまうと、地域住民からすれば支所機能も廃止されるのではないかという不安があると思う。

市長が支所も残すということをはっきりと言うべきだと思う。自治区制度の見直しについては落とすところをしっかりと決めないとうまく解決できないと思う。

(肥塚委員)

合併当初は自治区制度について10年で終わりということだった。それが5年延長されているのが現状である。これ以上延長すべきでないと思う。

(磯野委員)

地域協議会は残しても良いと思う。市議会がカバーすればいいという話が出たが、むしろ市議会議員が地域協議会に積極的に参加すれば良いと思う。

(村井委員)

以前から申し上げているが、自治区制度を廃止してオール浜田でいきたいと考えている。

(岡田地域政策部長)

今日は委員のみなさんの考えをざっくばらんにお聞きする機会である。落とすところについてはこれから案を考えていくのでまた意見をお聞きしたい。

5 その他「浜田市まちづくり総合交付金制度改正検討委員の選出について」

【説明】

(まちづくり推進課 上野地域づくり推進係長)

平成28年度から始まったまちづくり総合交付金制度について、現行制度から3年目となるため中間検証を行うこととなった。

中間検証を行う制度改正検討委員会に、各地区より委員を選出して協議していく予定である。

各地域協議会から1名選出することになっており、推薦期限の関係上、村井会長と相談して、浜田自治区地域協議会からは浜田市長沢町まちづくり委員会の細川会長にお願いすることになったので報告させていただく。

【意見】

(平野委員)

まちづくり総合交付金について、現行制度は人口が多いところへ配分されているが、行った事業について交付金が配分される仕組みをお願いしたい。課題解決特別事業のような仕組みに変えるべきである。

(まちづくり推進課 邊課長)

平野委員のご意見について、改正検討委員会で細川委員からご説明いただきたい。

(細川委員)

承知した。

(近重浜田自治区長)

自治区制度については、今後も意見を出し合って検討していくので今後ともよろしく願います。

(閉会 16時45分)